

12:00- 受付

センターホール 1階 エントランス

5/17 (金) [初日プログラム]

研究発表	【分科会Ⅰ】	松ヶ崎・西キャンパス内 センターホール	【分科会Ⅱ】	松ヶ崎・東キャンパス内 60周年記念館1F記念ホール
13:30-14:10	台北故宮博物院蔵「宋人画千手千眼観世音菩薩」像の淵源について 羅 翠恂 (早稲田大学)		画家金煥基 (キム・ファンギ/1913-1974) の伝統表象 — 南北分断後、新国家建設期の韓国における1950年代の制作から — 松岡 とも子 (総合研究大学院大学)	
14:10-14:50	山形・宝積院十一面観音菩薩立像再考 村上 幸奈 (成城大学)		1956年「これが明日だ」展再考 —「グループ2」の展示を中心に— 吉村 典子 (宮城学院女子大学)	
14:50-15:30	大報恩寺六観音菩薩像研究 — 納入経・造形・祈願に着目して — 森 香那子 (東北大学)		ロジャー・シモムラの《ミニドカ》シリーズ — 浮世絵イメージの使用と日系人強制収容の記憶 — 池上 裕子 (神戸大学)	
( 休 憩 1 5 分 )				
15:45-16:25	隋の莫高窟における弥勒経变相図の成立について 折山 桂子 (京都大学)		シャルル・ウダール (1855-1931) の版画作品におけるジャポニスム 荒木 弘太郎 (ソルボンヌ大学)	
16:25-17:05	根津美術館蔵「春日宮曼荼羅」について — 本地仏と真言宗の関わりを中心に — 岡崎 有紀 (岡山県教育委員会)		黒人彫刻の「芸術化」に対して稲垣吉蔵の台座が果たした役割 — バーンズ・コレクションを中心に — 田中 (稲垣) 里芳 (慶應義塾大学)	
17:05-17:45	白隠慧鶴筆「大日如来像」に関する考察 柿澤 香穂 (早稲田大学)		1930年代のフランスにおける写真の位相 — グラフィックアート誌『アール・ゼ・メティエ・グラフィック』を中心に — 磯谷 有亮 (大阪大学)	

8:20- 受付 | センターホール 1階 エントランス

5/18 (土) [2日目プログラム]

研究発表	【分科会Ⅰ】	松ヶ崎・西キャンパス内 センターホール	【分科会Ⅱ】	松ヶ崎・東キャンパス内 60周年記念館 1F記念ホール
9:20-10:00	尾張徳川家伝来・東京国立博物館所蔵「青磁球形瓶」の一考察 — 近世大名家における中国製青磁製品の受容にみる唐物意識の変遷 — 長久 智子 (徳川美術館)		和田英作《読み了りたる物語》 — 大正期における「読書する女性」の表象 — 松久保 修平 (長崎県美術館)	
10:00-10:40	旧幕府引継書 安政六年万延元年『外国人買物』データ分析 — 江戸における外国公使たちの工芸品購入と幕府の対応 — 西井 アカネ (フランス国立社会科学高等研究院)		岸田劉生《永遠之女性》における霊肉一致の肯定 西尾 真名 (笠間日動美術館)	
10:40-11:20	創作者としての濱田庄司 — 「民藝作家」再考 — 吉河 歩香 (学習院大学)		平和の表象 — 日本占領期の北京における興亜美術展について — 漆 麟 (京都大学)	

( 昼 休 み )

【総会 / 『美術史』論文賞表彰式 / シンポジウム】	松ヶ崎・西キャンパス内 センターホール		
13:15-14:45	総会 / 『美術史』論文賞表彰式		
15:00-17:45	当番校企画 シンポジウム「美術とデザインの邂逅」 司会・ディスカッサント: 三浦篤 (東京大学)	パネリスト:	並木誠士 (京都工芸繊維大学) 浅井忠と京都高等工芸学校の図案教育 吉田紀子 (学習院大学) 領域横断する芸術家ロートレックのポスター 熊倉一紗 (京都造形芸術大学) カッサンドルと里見宗次 —日本の商業美術界との関係— 中尾優衣 (東京国立近代美術館) 杉浦非水の〈アフィッシュ〉について 呉孟晋 (京都国立博物館) 近代中国におけるデザインの展開 —陳之仏を例に—
18:00-20:00	【懇親会】	松ヶ崎・西キャンパス内 KIT HOUSE	

8:20- 受付

センターホール 1階 エントランス

5/19 (日) [3日目プログラム]

研究発表	【分科会Ⅰ】 松ヶ崎・西キャンパス内 センターホール	【分科会Ⅱ】 松ヶ崎・東キャンパス内 60周年記念館1F記念ホール
9:20-10:00	南蛮屏風に描かれる図様の成立と主題についての考察 — 日明貿易に関わる儀礼を通して — 三木 沙友理 (滋賀県立大学)	《アキレウスとアイアスの将棋対決を表す群像彫刻》について — 将棋の同時代的意義とアクロポリスの奉納文化に基づく奉納理由の分析 — 小松 誠 (筑波大学)
10:00-10:40	狩野山雪筆「蘭亭曲水図屏風」について 細川 明日香 (外務省外交史料館)	ハンス・メモリンク《聖ウルスラの聖遺物箱》 — ナラティブによる聖性と救済思想の顕示 — 山形 美有紀 (京都大学)
10:40-11:20	伊藤若冲の著色画における漆の使用をめぐる — 徽宗憧憬の可能性 — 太田 梨紗子 (神戸大学)	ミケランジェロの素描《ヘラクレスとアンタイオス》 — 視点を手掛かりとした群像表現の考察と主題解釈 — 新倉 慎右 (Bunkamura ザ・ミュージアム)
11:20-12:00	「砧絵硯箱」(東京国立博物館蔵)の意匠について — 15世紀の歌絵意匠の展開 — 木村 真美 (学習院大学)	サンタ・マリーア・デル・ポーポロ聖堂キージ家礼拝堂クーポラの解釈について — 惑星、天使、光の作用に注目して — 関 大輔 (大阪大学)
( 昼 休 み )		
13:30-14:10	三代広重の描く都市 — 江戸・横浜・東京 — 神谷 蘭 (学習院大学)	グエルチーノ《受胎告知》とエスコラピオス修道会 大塚 優美 (神戸大学)
14:10-14:50	今村紫紅筆「近江八景」の写実性に関する考察 — 「近江八景写生帳」を起点として — 原田 礼帆 (名古屋大学)	ペーター・フォン・コルネリウスによるグリプトテーク 「神々の間」「トロイアの間」の装飾について 落合 桃子 (福岡大学)
14:50-15:30	近代日本の独立画家の画風変遷と支持層 — 大橋翠石を事例として — 村田 隆志 (大阪国際大学)	J.E.ミレイ《シンデレラ》の孔雀の羽根と唯美主義 長尾 順子 (清泉女子大学)